

役員 の 素 顔

― 婦性会とのかかわり ―



千葉県婦性会 監事
大土 かず子

保護観察対象者の一部に遵守事項として義務づけられた社会貢献活動が、二十七年年度から実施されている。活動を通して自己有用感、社会性、規範意識を得ることがねらいである。

中央地区保護司会では、この活動の先行実施として二十三年度から千葉ポートパークでの清掃を行ってきた。毎月一回、保護観察官、保護司、四人前後の婦性会在会者の参加を得て、海岸のごみ拾いを行った。

在会者の皆さんは、いつも時間いっぱい黙々と活動したが、コミュニケーションをとることが苦手とみえ、周囲と会話することが難しいようにうけとれた。私は努めて自分から話しかけるようにした。「故郷はどちらですか」と尋ねると、その地方の話題に広がった。「ごみを沢山拾いましたね」から、ごみの中味を見て社会の状況に話が及んだりもした。

活動後は全員で反省と感想の話し合いをした。「自分が活動してきれいになり楽しかったです」「千葉にこんな良い所があるとは知りませんでした」「来月また参加したいです」と話が弾んだが、保護司として在会者とのかわりを深めるにはどのような言葉かけや活動が望ましいか考える場でもあった。

最近の婦性会では、保護司が在会者の歌唱指導や個人との面談を行い、好ましい成果をあげていると聞く。私は保護司を退任後、監事としてかわらせていただいているが、在会者が一日も早く社会に復帰できるような手助けができれば、婦性会のこの尊い存在を社会に広めていくことができたらと切に思っている。



国会議員 御視察

平成二十七年九月七日、猪口邦子氏、小西ひろゆき氏、秋本まさとし氏、三名の国会議員が本会を視察されました。

刑務所出所者等の再犯防止に重要な役割を果たしている更生保護施設に対するご理解を深めていただくために実施されたもので、兒玉理事長ほか小畑副理事長、加藤常務理事、長沼施設長、そして千葉観察所の方々との懇談の後、長沼施設長が館内を案内いたしました。猪口議員から「大変キレイにしてある施設ですね」とお褒めの言葉を頂きました。



猪口邦子氏（前列一番左）
小西ひろゆき氏（右隣）
秋本まさとし氏（前列右から二番目）



長沼施設長の説明に耳を傾けられていた。

「縁」

千葉保護観察所
統括保護観察官



藤村 邦弘

この四月の人事異動により水戸保護観察所から千葉保護観察所に転任となり、更生保護法人関係業務を担当させていただくこととなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は宮城県で生まれ、都内と埼玉県内で青春時代を過ごし、世帯を持って数年後に、縁あって千葉県在住となりました。県民となって二十一年近くが経ちますが、初めて地元で仕事をする機会に恵まれました。

昔話になりますが、私が保護観察官に補職後、新任保護観察官対象の研修を受けましたが、そのカリキュラムに更生保護施設宿泊研修がありました。研修員が5〜6名のグループに分かれ、都内や近県に所在する更生保護施設に一泊して研修を受ける内容でした。補職時の勤務庁は浦和保護観察所（現さいたま保護観察所）でしたが、当時は埼玉県内に更生保護施設が無く、私はそれまで更生保護施設を訪れる機会がなかったため、更生保護施設の訪問に興味津々でした。私のグループの割当先が「婦性会」に決まり、初めて訪れる更生保護施設となったのです。研修では施設担当官である先輩保護観察官の対象者面接に同席したり、食堂で在所者と一緒に夕食を取り、当時の施設長から婦性会の歴史や